

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	乳幼児健康診査事業			事業番号	014-014
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども育成
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.2
		寄与するKPI	有	取組	妊娠期からの保健指導と乳幼児健診の実施		
			有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画				
3	事業開始年度	昭和 36 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	母子保健法			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	各保健センター・子ども育成課
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	本市の区域内に居住する乳幼児と保護者。全乳幼児健診の対象児数：約20,000人。
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	子どもの成長発達を確認し、育児情報の提供や保健指導、育児不安軽減のための相談を通じ、保護者への育児支援を行う。また疾病や障害等を早期発見し、早期治療につなげる。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	各乳幼児健康診査対象児と保護者に対し、自宅で記入した育児、発育、発達、栄養、歯科（1歳6か月児、3歳児健康診査）、眼科（3歳児健康診査）、聴覚（3歳児健康診査）に関する質問票をもとに、保健指導や育児相談、身体計測や小児科医、歯科医師（1歳6か月、3歳児健康診査）の診察等を実施する。また、必要な児に対し、フォロー健診や療育相談、精密検査・紹介状の発行、保健師等による支援を行う。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	各医療機関
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 乳幼児健康診査（4か月児・1歳6か月児・3歳児）の受診率平均値	%	目標値	100	100	100		100
		実績値	98	88			
		達成率	98%	88%			
当該指標を選定した理由	母子保健法第12条に基づく法定健診であるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	全対象児の発育・発達のスクリーニングを確実に実施するため、受診率100%を目標とする。						
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
12 乳幼児健康診査未受診者の実態把握率	%		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		目標値	100	100	100		
		実績値	100	100			
達成率	100%	100%					
当該指標を選定した理由	未受診者を含めた全対象児の現認を確実に行うことが当事業の目的に含まれるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	未受診者を含めた全対象児の実態を確実に実施するため、把握率100%を目標とする。						

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	乳幼児健康診査事業	事業番号	014-014
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
13 財源内訳					
国支出金					
府支出金					
市債					
その他 (広告収入)			50	50	50
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	62,510	58,452	64,546	64,061	52,101
14 人件費 (b)	4,553	5,859	6,655	6,655	6,655
15 年間経費(c)=(a)+(b)	67,063	64,311	71,251	70,766	58,806

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算	R3	予算		R2	決算	R3	予算
16	医師報酬	R2	決算	58,113	58,113	負担金、補助及び交付金 (研修会等参加負担金)	R2	決算	35	35
		R3	予算	46,844	46,844		R3	予算	6	6
	旅費	R2	決算	850	850		R2	決算		
		R3	予算	47	47		R3	予算		
	需用費 (印刷製本費・消耗品費)	R2	決算	1,909	1,909		R2	決算		
		R3	予算	1,933	1,933		R3	予算		
	役務費 (通信運搬費)	R2	決算	168	118		R2	決算		
		R3	予算	185	135		R3	予算		
	委託料	R2	決算	3,036	3,036		R2	決算		
		R3	予算	3,136	3,136		R3	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		千円	千円
17 ① 乳幼児健康診査 (4か月児・1歳6か月児・3歳児) の受診者数	人	17,264	18,986
② 上記①にかかる年間経費	千円	5,859	6,655
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	339	351
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言下に事業を一時中止したこと、一部で感染への不安から保健センターへの来庁を拒否する家庭があり、受診者数が大きく減少した。また、感染予防対策として、通常よりも対象人数を制限し予定よりも健診回数を多く設定したことで、医師や看護師等の報酬費を要した。</p>
----	---

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策をはかりながら、適齢時の受診を確保し発育・発達のスクリーニングを行う当事業の目的を達成するために、一時的に事業を中止はしたものの、その間に計画を変更し、通常の定例日以外に追加で各種健診を設定し、通常より案内人数を制限しながら実施回数を増やすことで、全対象者に法定年齢内での通知を行うことができた。そのため、令和2年度中の受診率は通常の9割程度まで回復し、その他対面での受診を希望しない家庭には、保健師が個別の面接や訪問等を行い、健康課題の解決に寄与している。</p>
----	---